

“子育てしやすい街 させぼ”を 目指した取り組みについて

- (1) アンケート調査等の実施について
- (2) 子育てアイデアの募集及び実現化に向けた取り組みについて
- (3) 平成29年度以降の取り組みの方向性について

アンケート調査等の実施について

【目的】

- ① 佐世保市まち・ひと・しごと創生総合戦略における「子ども・子育て支援モデル都市化プロジェクト」の取り組みの一環として、子育て世代が理想とする「子ども・子育て支援モデル都市」のイメージを明確にするとともに、その理想と現実のギャップを把握し、理想の実現に向けた施策を研究する
- ② 比較的良好と言われていた本市の「子育て環境」について、各種調査結果において、市民満足度が急激に低下していることから、子ども・子育て環境の変化に対応した行政サービス・支援を行うために実態を調査する

【調査内容】

① 「子育て世帯の理想像に関する調査」

子育て世帯が理想とする自治体の子育て支援環境に関する調査

② 「子育てに関する市民意識調査」

子育て世帯の子ども・子育てに関する様々な意識や状況に関する調査(4種類)

- ・子どもと子育てに関する市民意識調査
- ・子育て世帯の生活に関する調査
- ・子どもと子育てを取り巻く地域環境に関する調査
- ・子育てと仕事の両立に関する調査

③ 市民の生の声の聞き取り調査

「市長とキラっ人トーク！」など、子育て中の保護者の生の声を聞く場を設定

アンケート調査等の概要

【調査概要】

① 「子育て世帯の理想像に関する調査」

(対象) 保育所・幼稚園の保護者など 計322件

(方法) 調査票(主に自由記述) 配布・回収方式

(期間) 平成28年8月22日(発送) ～ 平成28年9月16日(回収)

(回収) 233件(回収率 72.4%)

(内容) あなたが思う「子育てしやすい街」、佐世保市の子育てしやすいところ、不十分なところ etc.

② 「子育てに関する市民意識調査」

(対象) 20歳～49歳の子育て中の保護者

(方法) 市役所ホームページのWebアンケート調査(インターネット回答)

(期間) 平成28年8月26日 ～ 平成28年9月19日(回収)

(内容・回収)

「子どもと子育てに関する市民意識調査」 (回答総数 363件)

・子どもの数の理想と現実、2人目の壁を感じるか、子育ての満足感 etc.

「子育て世帯の生活に関する調査」 (回答総数 266件)

・子育てに係る費用、祖父母の子育てへの協力、子育てで心配なこと etc.

「子どもと子育てを取り巻く地域環境に関する調査」 (回答総数 225件)

・子育ての情報源、佐世保は子育てしやすいか(その理由)、佐世保の子育てで感じること etc.

「子育てと仕事の両立に関する調査」 (回答総数 216件)

・母親(父親)の残業・出張時の子育てサポート、子育てと仕事の両立状況 etc.

アンケート調査等の概要（調査結果サンプル）

【調査概要】

「子どもと子育てに関する市民意識調査」

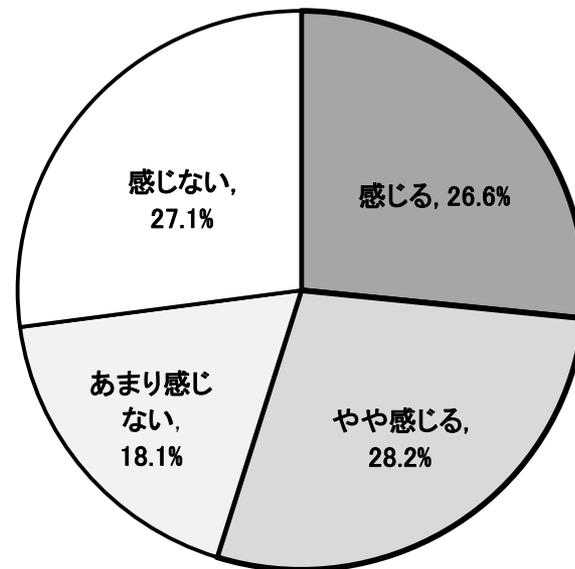
設問：2人目の壁を感じるか

今回の調査では、「2人目の壁」を感じるかどうかについて尋ねました。

ここでは、「2人目の壁」は具体的に定義せず、「様々な理由により2人目以上のお子さんを持つことをためらってしまうこと」として質問しました。

結果、2人目以上のお子さんを持つことに「ためらいを感じる（感じた）」または「ややためらいを感じる（感じた）」との回答が、全体回答（回答母数365件）のうち54.8%となっており、半数以上の方が「2人目の壁」を感じていることがわかりました。

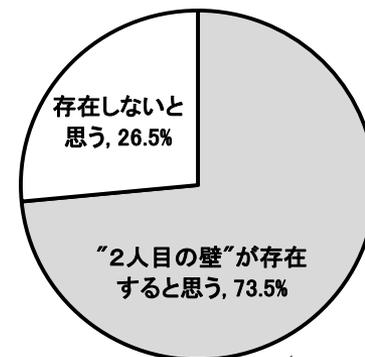
「2人目の壁」を感じる割合（n=365）



<参考：1 more baby 応援団調査>

1 more Baby 応援団の「夫婦の出産意識調査 2016」の調査結果では、「2人目の壁が実際に存在すると思う」との回答が、全体の73.5%と非常に高い割合となっています。

（引用：1 more baby 応援団「夫婦の出産意識調査2016」発表資料）



(n=2958)

※ 調査分析詳細は、
年度内に完成予定

佐世保市子育てアイデア実現化奨励金制度

【目的】

「子ども・子育て支援モデル都市」の実現に向けて、子育て支援を行いたい市民等の夢のある子育てアイデアの実現化を支援するために、予算の範囲内で佐世保市子育てアイデア実現化奨励金を交付するもの（※平成28年度新規事業）

【奨励金】

10万円を上限とする

【平成28年度に決定したアイデア】

No	アイデアの名称	アイデアの内容	No	アイデアの名称	アイデアの内容
1	父親を育児参加へ誘う父親学級の開催	父親の育児参加意識の向上を図り、女性の負担を減らして子育てしやすい環境づくりのために、「(株)アイナロハ 代表 渡辺大地氏」を招き、父親学級を開催する。	6	親子の居場所づくりなどにつながる子ども食堂の輪を広げる講演会開催	東京の「こども食堂ネットワーク」による提案により、既存の子ども食堂の質の向上や新規子ども食堂の広がりを目指して、有識者等をパネリストとしたシンポジウムを開催する。
2	ママ&キッズサロン	シングルマザーとその子供を対象にサロンを開催し、その中でサポートプログラムを体験することで、母子の孤立感の軽減・存在の重要性の認識、他の母子との関係づくり等の支援を行う。	7	ほかほか心があつまるママのためのキレイデザイン学	「キレイデザイン学」のインストラクターを招いた講座及びベビーマッサージ講座を開催する。「キレイデザイン学」を取り入れたコミュニケーション術を学び、自分を知る、子どもを知る、子どもの接し方も変わる、子育てが楽しくなる、笑顔もたくさんになることを目指す。また、ベビーマッサージで親子の心地よい時間を過ごす
3	佐世保市で唯一の家庭文庫を充実させたい	自宅の一部を開放して家庭文庫を開設する。子供たちや保護者がいつでも気軽に通え、絵本や読み物を通じて人と人が繋がる場所を目指す。	8	ママと子どものおしゃべりアトリエ「chamberie（シャベリエ）」	①お人形作りの会、②アナログ遊びの会レーゲンボーゲン、③アトリエ・ママトークの会を開催する。①はお人形を手作りし、手仕事と会話を楽しみリフレッシュするとともに、その人形が子どもの情緒の安定に繋がる。②はアナログゲームを通じてコミュニケーション力の向上や相手の存在のありがたさに気づく。③はワークショップと子育ての悩みをみんなで話し合うことで、子育てに対する安心感やリフレッシュに繋げる。
4	ようこそ！パパ・ママ&赤ちゃんフェス	この街に誕生する新しい命をみんなで喜び合う場、及び産前産後ケアに取り組みむ団体が集い情報発信の場として開催する。親たちの出産後から4か月の間に感じている孤立感を解消するとともに、家族や支援者の様々なつながりのきっかけも作る。	9	てらこや食堂	小中学生の学習支援と休日の孤食を防ぐことを目的とする。公民館でボランティアが学習支援を行い、食事を提供する。小中学生の基礎学力向上によるやる気や意欲の向上及び地域との関わりにより社会性を身につけることを目指す。
5	親子こいの広場もくもく	なかまde保育（地域の乳幼児親子が参加し主体的に活動する、預合いを取り入れた次世代型の子育てサークル活動）の実践を通じてイベントを計画、開催する。佐世保教会を拠点として活動し、子育てトーク・子ども食堂・リサイクルバザー等を開催し、ママ友の交流を深め、それぞれのキャリアや趣味を活用する。			

平成29年度以降の取り組みの方向性について

【取り組みの方向性】

主に以下の内容について、平成29年度以降の事業化等に向けて検討中

① 「佐世保版ネウボラ(仮称)」の実施検討

子育て中の保護者の生の声として、特に産後1か月の間の不安や悩みに関する意見が多く、相談支援体制としても充実を図る必要性があることから、子育て世代包括支援センターの設置や妊産婦が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩みに関する訪問相談、退院直後の母子に対して心身のケアや育児サポート等を行う訪問支援の実施について検討

② 子ども・子育て支援に関する情報発信の強化

市民意識調査では、出産・育児に関する情報源として「子育て情報サイト」という回答が最も多かった一方で、「市役所のホームページ」との回答はその1/3であり、保護者の生の声としても「市役所のホームページは探しにくい」という意見があるため、ホームページの見直しも含めて、市役所からの情報発信の強化を図る

③ その他

平成28年度に事業化した「子育てアイデア実現化奨励金制度」を継続しつつ、効果的な事業展開を図るとともに、市民意識調査結果や子育て中の保護者の生の声を活かしながら、予算化が必要なものについては予算化を図り、“子育てしやすい街させぼ”を目指した取り組みを進める